経営者・管理者が見るべき経営管理レポート（管理帳票）の設計手法と見直しのポイント（4120104）

経営者・管理者が見るべき経営管理レポート（管理帳票）の設計手法と見直しのポイント
～BIツール導入にあたっても必須になる作業を紹介します

経営視点からの管理帳票（経営管理レポート）の設計方法（管理項目や指標の設定）の基礎から見直しのポイントについて、講義と演習を通して学びます。この知識・手法は、BIツールの導入にあたっても必須のものとなります。

開催日時	2020年10月6日(火) 10:00-17:00
カテゴリー	IS導入（構築）・IS保守 専門スキル
講師	尾田友志 氏 （マネジメントテクノロジーズ,LLC　代表 ） 株式会社 日本エル・シー・エー 経営開発部　コンサルタント、青山監査法人/ プライスウォーターハウスシニアマネージャー、日本マンパワー バリューマネージャー養成講座 主任講師、中央青山監査法人/PricewaterhouseCoopers ディレクターを経て、現職。スターティア株式会社 社外取締役(兼務)。 ＜専門分野＞経営工学(統計・オペレーションズリサーチ)・財務・管理会計 JUASオープンセミナー「ビジネスモデル構築の作業ステップと手法」、「仕様変更を最小限に抑えるヒアリング技術」、「外部データ（公共オープンデータ等）収集と分析・活用方法」など講演多数。
参加費	ＪＵＡＳ会員/ITC：33,800円 一般：43,000円（１名様あたり　消費税込み、テキスト込み） 【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	情報システムの開発・保守において管理帳票の設計を担当される方 中級
開催形式	講義
定員	15名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
ITCA認定時間	6

主な内容

＜＜参加者の声＞＞
・管理会計システムに構築に役立つヒントが多数あると思います（情報システム業）
・個別の問題、関心毎にフォーカスして説明して頂いたので、非常に分かりやすかった。
　また、管理帳票におけるプロセスの見方、分析できる仕組みが分かりやすかった（情報システム業）

商品や製品と同様に企業にも導入期・成長期・成熟期・衰退期といったサイクルがあります。成熟期に入った業界に所属する企業でありながら、システムの改修時に管理レポートの修正まで手が回らなかったため、導入期・成長期の管理指標を使い続けていることがあります。他方、会計基準の変更等により見るべき管理項目も変わってきました。今後はキャッシューフロー（フリーキャッシューフロー）がより重視されます。

本セミナーでは、経営視点からの管理帳票（経営管理レポート）の設計方法（管理項目や指標の設定）の基礎から見直しのポイントについて、講義を通して学びます。この知識・手法は、BIツールの導入にあたっても必須のものとなります。

<<内容>>
第１部　経営管理レポートの設計・見直しのステップ
（1）Step-1：自社のなりたい姿を明確にする
（2）Step-2：重要経営管理指標を定義する

(3) Step-3：指標の関連性を検討する
(4) Step-4：定型的管理指標を整備する
(5) Step-5：レポーティング

第２部　経営管理指標（経営管理レポート）の設計（設定）手法

(1) 財務の側面から経営管理指標を導き出す
(2) 企業価値(売上方程式)の側面から経営管理指標を導き出す
(3) 業界構造分析の側面から経営管理指標を導き出す
(4) 業界ライフサイクルの側面から経営管理指標を導き出す
(5) ABC/ABMの側面から経営管理指標を導き出す
(6) 定性指標・その他の側面から経営管理指標を導き出す